

○吹奏楽部 クイーンズカレッジ香港との音楽交流の様子と生徒の感想



☆生徒の感想

2年 Y.Kさん

私にとって今回の交流会は、海外の同世代の方と交流をする初めての機会でした。お互いの演奏を聴いたことや合奏をしたことから、「音楽は世界共通である」ということを実感しました。文化や言語が違って、吹奏楽を通じて交流できたことは、非常に貴重な経験となりました。

演奏後に行われたパートごとの交流会では、英語でのコミュニケーションの難しさを改めて感じました。相手の言葉が聞き取れて、自分の思いを伝えることができた場面もありました。しかし、コミュニケーションが成功した場面の方が少なく、英語のフレーズが聞き取れなかったり、伝えたいことがたくさんあるのに英語に変換することができず気持ちを伝えられなかったり、思いどおりの会話にならなくてとても悔しい思いをしました。リスニングの授業で聞いていた英語の音声は、ゆっくり、はっきりとした声で録音されているため聞き取りやすかったのに、実際の会話は異なるのだということに気づきました。また、翻訳機も利用しましたが、会話の中では使いづらいということも、実感しました。

私は、交流会での経験を通して、もっと英語の勉強をして会話ができるようになりたいと思いました。日々の授業をはじめとする英語学習の重要性を感じたので、今後も努力していきたいと思います。

最後に、香港からお越しいただいたクイーンズ・カレッジ香港の方や、交流会の企画や運営、進行に携わってくださった旅行会社の方には、大変貴重な機会をいただけたことを感謝いたします。楽器の技術だけでなく語学力を磨き、次は私たちが香港に行けたらいいなと思います。

1年 K.Eさん

今回の香港交流会で、私は初めて外国の人と英語で会話をしました。リハーサルの時は「ちゃんと話を通じるのか」と不安でしたが、本番では意外とコミュニケーションがとれてとても楽しかったです。

この経験から私が学んだことが、2つあります。

一つは、「コミュニケーションに言語の違いは関係ない」ということです。私は簡単な英語しか話すことも理解することもできません。クイーンズ・カレッジの方も、簡単な日本語しか知らないと思います。しかし、互いに「この人に伝えたい、この人の話を聞きたい」という気持ちがあれば、言語が異なってもなんとなく通じることが分かりました。今後も、外国の人と話す機会があれば、このことを意識したいです。

もう一つは、「音楽に国境はない」ということです。吹奏楽部の先生はよく、「音楽は人と人を繋ぐ」とおっしゃっていますが「本当にその通りだな」と思いました。合同演奏をした時に、住んでいる国や話す言葉が違って、同じ楽器を持って同じ譜面を見て演奏すれば、自然と「自分と同じ演奏をする仲間なのだ」と感じました。私はこの時初めて「音楽は人を繋ぐ、音楽に国境はない」という言葉の意味が、本当に理解できたのだと思います。外国の方とコミュニケーションをとったり、音楽に対する新しい見方ができるようになったりと、とても良い経験ができました。